MTX-MRX Editor for Win

主なアップデート内容

V4.10

MTX3 V4.10

修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

MTX5-D V4.10 / MRX7-D V4.10 / XMV シリーズ V4.10

修正した不具合

- MTX5-D や MRX7-D、XMV シリーズ、DHCP サーバーを再起動したとき、Dante モジュールが他の TCP 通信に影響を与える可能性があるという不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

EXi8 V4.10 / EXo8 V4.10 / MCP1 V4.10 / PGM1 V4.10

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- MCP1 のスイッチに External Event を割り当てたあと、MCP1 のファームウェアを V3.41 以前にダウングレードすると、MCP1 の画面遷移ができなくなります。

ダウングレードしたときは、ファームウェアと互換性のある MTX-MRX Editor で MCP1 を再設定してください。

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。
  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。
  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante Domain Manager サーバー(DDM サーバー)に接続している場合、レイテンシーは、10.0 ms、20.0 ms、40.0 ms に設定されることがあります。設定は Dante Controller を使用します。MTX-MRX Editor からはこれらの値には設定できません。
- DDM 上で Dante 対応 XMV シリーズのモデル名が"XMVxxxx-D"と表示されます。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。
  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。
  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として、Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に、全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行いません。
- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D(ファームウェア V1.03-2 以前)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は、CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)(ファームウェア V4.50 以前)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、MTX-MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。

MTX-MRX Editor V4.0.1

修正した不具合

- 「Synchronization」ダイアログで[From Device]、または「Go online – From devices」を実行すると、「Preset」ダイアログの Recall Filter の設定が MTX-MRX Editor に反映されない不具合を修正しました。
- 「MCP1」ダイアログで[SD Song Select & Play]や「PGM1/PGX1」ダイアログの[SD Message]でマルチバイトのフォルダー名やファイル名を含んでいると、再生ができない不具合を修正しました。
- MRX7-D の「MRX Designer」ウィンドウ上に複数の「Source Selector」コンポーネントを配置したとき、「Digital Control Panel」ダイアログを使用すると[Source Select]タブにある[COMPONENT]リストに「Source Selector」コンポーネントが正しく表示されないことがある不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

MRX7-D V4.00 / MTX5-D V4.00 / MTX3 V4.00 / XMV V4.00 / EXi8 V4.00 / EXo8 V4.00 / PGM1/PGX1 V4.00 / MCP1 V4.00

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- MCP1 のスイッチに External Event を割り当てたあと、MCP1 のファームウェアを V3.41 以前にダウングレードすると、MCP1 の画面遷移ができなくなります。

ダウングレードしたときは、ファームウェアと互換性のある MTX-MRX Editor で MCP1 を再設定してください。

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。
  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。
  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante Domain Manager サーバー(DDM サーバー)に接続している場合、レイテンシーは、10.0ms、20.0ms、40.0ms に設定されることがあります。設定は Dante Controller を使用します。MTX-MRX Editor からはこれらの値には設定できません。
- DDM 上で Dante 対応 XMV シリーズのモデル名が XMVxxxx-D と表示されます。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。
  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。
  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。
- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D(ファームウェア V1.03-2 以前)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTX-MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。

MTX-MRX Editor V4.0.0

新機能

- 「External Events」機能を追加しました。この機能を使うと MTX3/MTX5-D/MRX7-D から UDP や TCP コマンドを発行できます。これにより GPI、DCP、MCP1、Wireless DCP、Preset Recall により他社機器を含む外部機器をコントロールできるようになりました。

MRX7-D V4.00 / MTX5-D V4.00 / MTX3 V4.00

新機能

- 「External Events」機能を追加しました。

XMV V4.00/ EXi8 V4.00/ EXo8 V4.00 / PGM1/PGX1 V4.00 / MCP1 V4.00

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- MCP1 のスイッチに External Event を割り当てたあと、MCP1 のファームウェアを V3.41 以前にダウングレードすると、MCP1 の画面遷移ができなくなります。
  ダウングレードしたときは、ファームウェアと互換性のある MTX-MRX Editor で MCP1 を再設定してください。

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。
  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。
  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante Domain Manager サーバー(DDM サーバー)に接続している場合、レイテンシーは、10.0ms、20.0ms、40.0ms に設定されることがあります。設定は Dante Controller を使用します。MTX-MRX Editor からはこれらの値には設定できません。
- DDM 上で Dante 対応 XMV シリーズのモデル名が XMVxxxx-D と表示されます。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。
  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。
  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。

- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。
- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D(ファームウェア V1.03-2 以前)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。
  また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTX-MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。

MTX-MRX Editor V3.4.1

新機能

- Speaker Processor Library に VXC2F と VXC8S を追加しました。

修正した不具合

- Windows 10 OS ビルド 1903 以降で「Device Configuration Wizard」にてエラーメッセージが出る不具合を修正しました。
- Windows 10 OS ビルド 1903 以降で、DCP がコンフィギュレーションに含まれないことがある不具合を修正しました。

MTX5-D V3.41

修正した不具合

- システムに R シリーズや Tio1608-D を追加すると、再起動時に MTX5-D の Dante Word Clock が 44.1kHz に切り替わることがある不具合を修正しました。

MCP1 V3.41

修正した不具合

- MRX7-D の Device Name を変更すると MCP1 の画面に操作子が表示されない不具合を修正しました。

MRX7-D V3.41 / MTX3 V3.41 / XMV V3.41 / EXi8 V3.41 / EXo8 V3.41 / PGM1/PGX1 V3.40

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。

  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。

  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante Domain Manager サーバー(DDM サーバー)に接続している場合、レイテンシーは、10.0ms、20.0ms、40.0ms に設定されることがあります。設定は Dante Controller を使用します。MTX-MRX Editor からはこれらの値には設定できません。
- DDM 上で Dante 対応 XMV シリーズのモデル名が XMVxxxx-D と表示されます。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。

  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。

  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。

  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。
- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D(ファームウェア V1.03-2 以前)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

  また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTXMRX Editor と R-Remote は同時接続できません。

MTX-MRX Editor V3.4.0

新機能

- 「PGM1/PGX1」ダイアログの[Zone Group]の機能を変更しました。従来の[Zone Group]は[Zone Group (Legacy)]に名称変更しました。
- 「PGM1/PGX1」ダイアログの「FUNCTION」に[All Zone On/Off]を追加しました。
- Speaker Processor Library に VXL1 シリーズを追加しました。

改善点

- MRX Designer でコンポーネントのラベルがマルチバイト文字でも Parameter Set などに登録できるようにしました。

修正した不具合

- GPI Out の設定が保持されないことがある不具合を修正しました。
- MRX7-D の「Speaker Processor」で、CZR の 2-Way の Library を修正しました。
- Digital Control Panel にアサインされた MRX Source Select 機能が正常に動作しないことがある不具合を修正しました。

MRX7-D V3.40

新機能

- PGM1/PGX1 の[Zone Group]と[All Zone On/Off]に対応しました。

MTX5-D V3.40

新機能

- PGM1/PGX1 の[Zone Group]と[All Zone On/Off]に対応しました。

MTX3 V3.40 / XMV V3.40 / EXi8 V3.40 / EXo8 V3.40 / MCP1 V3.40 / PGM1/PGX1 V3.40

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。
  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。
  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante Domain Manager(DDM)を使用する場合、Dante の設定には Dante Controller をご使用ください。
- Dante Domain Manager サーバー(DDM サーバー)に接続している場合、レイテンシーは、10.0ms、20.0ms、40.0ms に設定されることがあります。設定は Dante Controller を使用します。MTX-MRX Editor からはこれらの値には設定できません。
- DDM 上で Dante 対応 XMV シリーズのモデル名が XMVxxxx-D と表示されます。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。
  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。

- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D(ファームウェア V1.03-2 以前)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

  また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTX-

  MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。

MRX7-D V3.31

新機能

- Dante Domain Manager (DDM) に対応しました。

改善点

- AEC で残響音の処理機能を改善しました。

修正した不具合

- CL/QL シリーズの制御対象として長時間接続していると、接続が切れることがある不具合を修正しました。

MTX5-D V3.31

新機能

- Dante Domain Manager (DDM) に対応しました。

修正した不具合

- CL/QL シリーズの制御対象として長時間接続していると、接続が切れることがある不具合を修正しました。

MTX3 V3.31

修正した不具合

- CL/QL シリーズの制御対象として長時間接続していると、接続が切れることがある不具合を修正しました。

XMV V3.31

新機能

- Dante Domain Manager (DDM) に対応しました。

修正した不具合

- MTX-MRX Editor や Amp Editor で Redundant インジケーターが動作しない不具合を修正しました。これにともないリモートコントロールプロトコルの OUTPUT CURRENT の UniqueId を 80002 から 80003 に変更しました。詳細についてはリモートコントロールプロトコル仕様書の改訂履歴を参照してください。

PGM1 / PGX1 V3.31

新機能

- Dante Domain Manager(DDM)に対応しました。

修正した不具合

- MTX-MRX Editor の「Dante Information」ダイアログで、「Dante(A)FW」の表示が正しくない不具合を修正しました。

MTX-MRX Editor V3.3.0 / EXi8 V3.31 / EXo8 V3.31 / MCP1 V3.30

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- MRX Designer の Speaker Processor におきまして、CZR Biamp 用プリセットデータの CROSSOVER の設定に誤りがございました。正しく設定しなおしたプリセットデータ（MTX/MRX Library Files for CZR / CXS XLF Series Speakers (V1.1)）を掲載しましたのでダウンロードいただき、同梱ファイル「Read me」に記載した手順に沿ってご活用ください。

  MTX/MRX Library Files for CZR / CXS XLF Series Speakers (V1.1)

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。

  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。

  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante Domain Manager (DDM)を使用する場合、Dante の設定には Dante Controller をご使用ください。
- DDM サーバーに接続している場合、レイテンシーは、10.0ms、20.0ms、40.0ms に設定されることがあります。設定は Dante Controller を使用します。MTX-MRX Editor からはこれらの値には設定できません。
- DDM 上で Dante 対応 XMV シリーズのモデル名が XMVxxxx-D と表示されます。
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。

  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

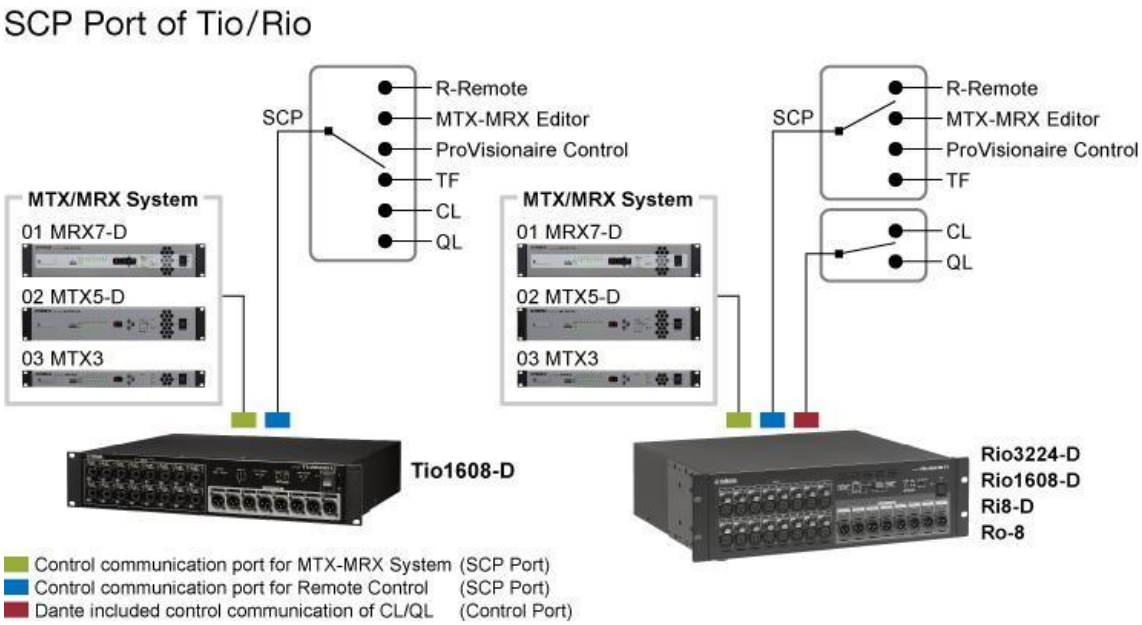
  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。

MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。

- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

  また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTX-MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。



MTX-MRX Editor V3.3.0

新機能

- Speaker Processor Library に CZR シリーズと VXL1 シリーズを追加しました。
- MRX7-D の Fader コンポーネントでチャンネルをステレオ設定にできるリンクボタンを追加しました。

修正した不具合

- Remote Control Setup List に Delay コンポーネント(1000 ms)の Delay Time がアサインできない不具合を修正しました。
- Default Gateway と DNS Server の IP アドレスを一度設定すると空白に戻せない不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

MRX7-D V3.30

新機能

- CL/QL(V5.1 以降)から HA をコントロールできるようにしました。

修正した不具合

- SD Play を実行すると、ハングアップすることがある不具合を修正しました。
- Dante Via とのパッチ情報を表示、記録しない不具合を修正しました。
- Parameter Link Group に登録した ON/OFF パラメーターの値が ProVisionaire Control や MRX Designer と実機とで異なることがある不具合を修正しました。
- まれにプリセットのリコールができないことや Parameter Link Group のコントロールができないことがある不具合を修正しました。この現象は同じネットワークに Tio1608-D(V1.0.0)か NEXO 社の NXAMPmk2 がつながっているときに発生していました。
- R シリーズ(AD/DA)や Tio1608-D を再起動するとアラート番号 42 番が出続ける不具合を修正しました。
- 規模の大きなシステムを組むと、アラート番号 42 番が出ることがある不具合を修正しました。
- MTX-MRX Editor の「Preset」ダイアログで[Power on Default]を ON にした MRX7-D を起動すると、起動直後に GPI の値が反映されないことがある不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

MTX5-D V3.30

新機能

- CL/QL(V5.1 以降)から HA をコントロールできるようにしました。

修正した不具合

- SD Play を実行すると、ハングアップすることがある不具合を修正しました。
- Dante Via とのパッチ情報を表示、記録しない不具合を修正しました。
- まれにプリセットのリコールができないことがある不具合を修正しました。この現象は同じネットワークに Tio1608-D(V1.0.0)か NEXO 社の NXAMPmk2 がつながっているときに発生していました。
- R シリーズ(AD/DA)を再起動するとアラート番号 42 番が出続ける不具合を修正しました。
- 規模の大きなシステムを組むと、アラート番号 42 番が出ることがある不具合を修正しました。
- MTX-MRX Editor の「Preset」ダイアログで[Power on Default]を ON にした MTX5-D を起動すると、起動直後に GPI の値が反映されないことがある不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

MTX3 V3.30

新機能

- CL/QL(V5.1 以降)から HA をコントロールできるようにしました。

修正した不具合

- SD Play を実行すると、ハングアップすることがある不具合を修正しました。
- まれにプリセットのリコールができないことがある不具合を修正しました。この現象は NETWORK 端子がつながっているネットワークに Tio1608-D(V1.0.0)か NEXO 社の NXAMPmk2 がつながっているときに発生していました。
- R シリーズ(AD/DA)を再起動するとアラート番号 42 番が出続ける不具合を修正しました。
- 規模の大きなシステムを組むと、アラート番号 42 番が出ることがある不具合を修正しました。
- MTX-MRX Editor の「Preset」ダイアログで[Power on Default]を ON にした MTX3 を起動すると、起動直後に GPI の値が反映されないことがある不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

XMV V3.30

修正した不具合

- Dante Via とのパッチ情報を表示、記録しない不具合を修正しました。

Exi8 V3.30 / EXo8 V3.30 / MCP1 V3.30 / PGM1/PGX1 V3.30

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- MTX-MRX Editor の「Dante Information」ダイアログで、「Dante(A)FW」が 3.10.5.1 ではなく 3.10.5.50987013 と表示されます。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- MRX Designer の Speaker Processor におきまして、CZR Biamp 用プリセットデータの CROSSOVER の設定に誤りがございました。正しく設定しなおしたプリセットデータ（MTX/MRX Library Files for CZR / CXS XLF Series Speakers (V1.1)）を掲載しましたのでダウンロードいただき、同梱ファイル「Read me」に記載した手順に沿ってご活用ください。

  MTX/MRX Library Files for CZR / CXS XLF Series Speakers (V1.1)

お知らせ

- MTX/MRX システムの Dante モデルでは Dante Brooklyn II または Dante Ultimo を使用しています。
  使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト(英語)をご覧ください。
  https://www.audinate.com/software-licensing
- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。
  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

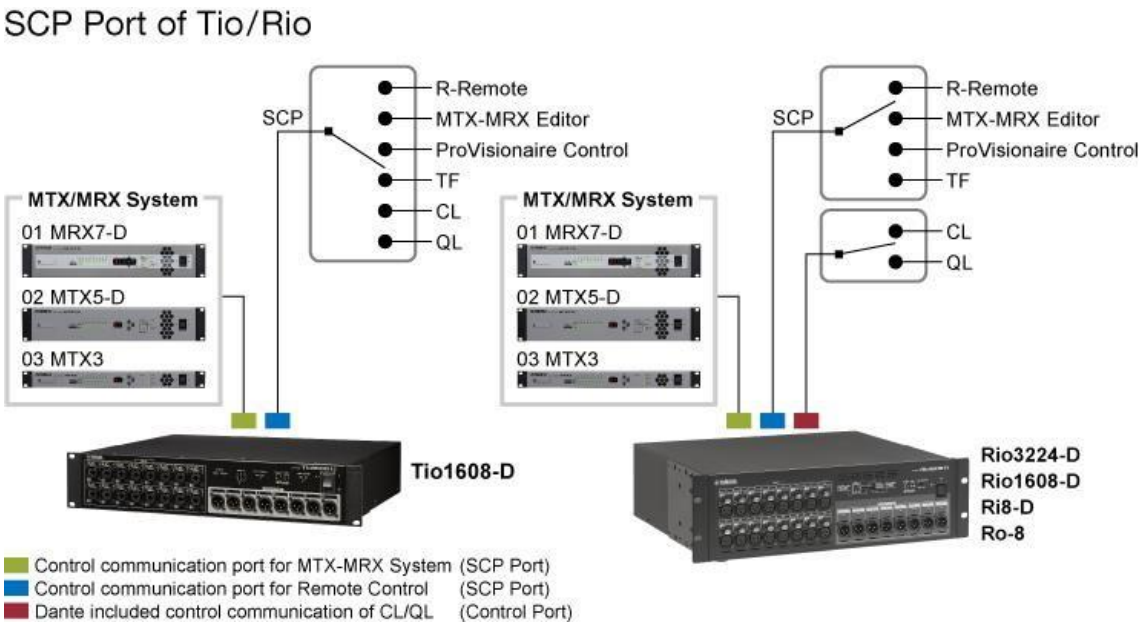
また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

- ○ 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
- ○ 31 文字まで対応しています。

- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante

  Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。
- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

  また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTX-MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。



MTX-MRX Editor V3.2.0

新機能

- Rio3224-D、Rio1608-D、Ri8-D、Ro8-D、Tio1608-D に対応しました。
  MTX5-D や MRX7-D から上記モデルへのパッチは Dante Controller で行なってください。
  MTX/MRX システムに組み込むことで、プリセットリコールの対象となります。対象となるパラメーターは+48V、HPF、HA ゲインです。

- MRX7-D に Audio Detector コンポーネントと Summer コンポーネントを追加しました。

- MTX-MRX Editor と異なるサブネットに属する機器をコントロールできるようにしました。ただし以下をご留意ください。

  - 一つのシステムは同一のサブネット内に配置する。

  - サブネットが異なるシステム間では Preset Link は機能しない。

- MTX3 と MTX5-D に Matrix Out Level を追加しました。これにより「MATIX」画面の右下のフェーダーが Zone Out Level から Matrix Out Level に変更になりました。また、DCP や GPI などの外部コントローラーから Matrix Out Level をコントロールできるようになりました。

- Dante の AES67 モードと Device Lock に対応しました。

改善点

- 一部の画面を高解像度モニターに対応しました。

修正した不具合

- 「Digital Control Panel」ダイアログで[Legacy - MTX Source Select (w/sw)]や[Legacy - MTX Source Select (w/knob)]で[Upper Limit]の表示が[-∞]になってしまう不具合を修正しました。

- Device Configuration Wizard で機器を削除すると、エディターやプリセットリコールでのパラメーター変更が機器に反映されないことがある不具合を修正しました。

MRX7-D V3.20

新機能

- Audio Detector コンポーネントと Summer コンポーネントを追加しました。

- Dante の AES67 モードと Device Lock に対応しました。

- Rio3224-D、Rio1608-D、Ri8-D、Ro8-D、Tio1608-D に対応しました。
  MRX7-D から上記モデルへのパッチは Dante Controller で行なってください。

修正した不具合

- 「Delay Matrix」コンポーネントの Delay 値をチャンネル毎に異なる大きな設定にしていると、まれに 07 アラートを発行して音声が止まることがある不具合を修正しました。この不具合修正により「Delay Matrix」コンポーネントの DSP リソース使用量が増えています。

MTX5-D V3.20

新機能

- Matrix Out Level を追加しました。
- Dante の AES67 モードと Device Lock に対応しました。
- Rio3224-D、Rio1608-D、Ri8-D、Ro8-D、Tio1608-D に対応しました。
  MTX5-D から上記モデルへのパッチは Dante Controller で行なってください。

MTX3 V3.20

新機能

- Matrix Out Level を追加しました。
- Rio3224-D、Rio1608-D、Ri8-D、Ro8-D、Tio1608-D に対応しました。

XMV V3.20

新機能

- Dante の AES67 モードと Device Lock に対応しました。

Exi8 V3.20 / EXo8 V3.20 / MCP1 V3.20 / PGM1/PGX1 V3.20

- 新機能、修正などはありません。

既知の不具合

- MTX-MRX Editor の「Dante Information」ダイアログで、「Dante(A)FW」が 3.10.5.1 ではなく 3.10.5.50987013 と表示されます。正しい値については Dante Controller でご確認ください。
- Dante Controller で Device Latency を 2msec や 5msec に設定しても、MTX-MRX Editor 上で 1msec と表示されることがあります。正しい値については Dante Controller でご確認ください。

お知らせ

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。
- Dante の AES67 モードや Device Lock を利用するときには、MTX-MRX Editor の[Dante Controller の設定を優先する]チェックボックスにチェックを入れることをおすすめします。
- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF と MTX-MRX Editor は同時接続できません。

  また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、MTX-MRX Editor と R-Remote は同時接続できません。

MTX-MRX Editor V3.1.1

新機能

- Speaker Processor Library に VXS1ML と VXS3S を追加しました。

MRX7-D V3.11

修正した不具合

- 「Remote Control Setup List」ダイアログや「Digital Control Panel」ダイアログなどでパラメーターの範囲を狭くし、リモートコントロールコマンド「scpmode resolution」で正規化分解能を高くした場合、定めた値より大きな値が返ってくることがある不具合を修正しました。

XMV V3.11

改善点

- アンプを保護するためのリミッターパラメーターを改善し、ハードの性能をより発揮するように調整を行ないました。

MCP1 V3.11

不具合の修正

- UNIT ID で FF が選択できる不具合を修正しました。

PGM1 V3.11

不具合の修正

- ディップスイッチを PC モードにして DHCP を利用すると、MTX-MRX Editor から PGM1 が発見できない不具合を修正しました。

MTX3 V3.11 / MTX5-D V3.11 / Exi8 V3.11 / EXo8 V3.11

- 新機能、修正などはありません。

MTX-MRX Editor V3.1.0

新機能

- MCP1、PGM1、PGX1 に対応しました。

- MTX の入出力に関するパラメーターを設定できる「I/O」画面を追加しました。デジタル出力でパイロットトーンを送出するかどうかの設定もできます。
- XMV の入力ソースをチャンネル単位でデジタルまたはアナログに設定できるようにしました。
- XMV の入力ソースがデジタルのチャンネルに対してリダンダントを設定できるようになりました。
  - Backup モード: 断線などのトラブルでデジタル入力のパイロットトーンが途切れたとき、アナログ入力に切り替えます。パイロットトーンは MTX では「I/O」画面で、MRX では「Oscillator」コンポーネントで設定してください。
  - Override モード: アナログ音声を検出したとき、デジタル入力を規定のアナログ入力に切り替えます。
- MRX のコンポーネントごとにリンクできるギャングエディットグループを追加しました。このリンク機能を使う場合は、MTX-MRX Editor と MTX/MRX システムをオンラインにしたまま稼働させてください。
- サンプルファイルとして以下を追加しました。サンプルファイルの場所については MTX セットアップマニュアルまたは MRX セットアップマニュアルを参照してください。
  - MRX7-D MTX5-D Style Configuration.mtx : MRX7-D を使って MTX5-D を再現したサンプル
  - MRX7-D PGM1 Paging Example.mtx : MRX Designer の Operation Manual にある「PGM1 Paging Component」を再現したサンプル
  - MTX5-D PGM1 Paging Example.mtx : MTX-MRX Editor の Operation Manual にある「PGM1 Paging Component」を再現したサンプル
  - MRX7-D+PGM1+MCP1 Fitness Gym.mtx : MRX セットアップマニュアルの例 3 を再現したサンプル
  - MTX5-D+PGM1 Shopping mall.mtx : MTX セットアップマニュアルの例 5 を再現したサンプル
  - MTX3+MCP1 cascade example.mtx : MTX セットアップマニュアルの変更した例 3 を再現したサンプル

改善点

- 「Daylight Saving Time」ダイアログでオンライン状態/オフライン状態にかかわらず同一ネットワークに接続されている MTX/MRX のサマータイムの設定をできるようにしました。また、機器の設定も確認できるようにしました。
- DNS Server と Default Gateway の設定を「Clock」ダイアログから「IP Address」ダイアログに移動しました。
- 「MATRIX」画面の入力チャンネルマトリクスの上と右横にチャンネル名を表示するようにしました。フェーダー下のチャンネル名を編集すると連動します。
- MTX-MRX Editor の About メニューに Shortcut Keys と Operation Manual を追加しました。
- User Defined Block を開いたときに自動的に最前面に配置されるようにしました。

MRX7-D V3.10

新機能

- PGM1/PGX1 に対応しました。それに伴い PGM1 と併せて使う、Paging 機能を追加しました。
- MCP1 に対応しました。

改善点

- DCP や Wireless DCP のスイッチに Input Ch Mute Group と ZONE Out Mute Group を設定した場合、パラメーターを ON にすると LED が消灯するように仕様変更しました。GPI やリモートプロトコルは変更ありません。

MTX5-D V3.10

新機能

- PGM1/PGX1 に対応しました。それに伴い PGM1 と併せて使う、Paging 機能を追加しました。
- MCP1 に対応しました。
- YDIF/Dante の出力にパイロットトーンを出せるようにしました。

改善点

- DCP や Wireless DCP のスイッチに Input Ch Mute Group と ZONE Out Mute Group を設定した場合、パラメーターを ON にすると LED が消灯するように仕様変更しました。GPI やリモートプロトコルは変更ありません。

MTX3 V3.10

新機能

- MCP1 に対応しました。
- YDIF の出力にパイロットトーンを出せるようにしました。

改善点

- DCP や Wireless DCP のスイッチに Input Ch Mute Group と ZONE Out Mute Group を設定した場合、パラメーターを ON にすると LED が消灯するように仕様変更しました。GPI やリモートプロトコルは変更ありません。

XMV V3.10

新機能

- 入力ソースをチャンネル単位でデジタルまたはアナログに設定できるようにしました。
- リダンダント機能を追加しました。
  - Backup モード: 断線などのトラブルでデジタル入力のパイロットトーンが途切れたとき、アナログ入力に切り替えます。パイロットトーンは MTX では「I/O」画面で、MRX では「Oscillator」コンポーネントで設定してください。
  - Override モード: アナログ音声を検出したとき、デジタル入力を規定のアナログ入力に切り替えます。

Exi8 V3.10 / EXo8

V3.10

- 新機能、修正などはありません。

MCP1 V3.10

新規リリースです。

PGM1 / PGX1 V3.10

新規リリースです。

MTX-MRX Editor V3.0.0

新機能

- MTX の INPUT に Dugan Automixer を追加しました。この追加に伴い、DCP/Wireless DCP/GPI の[FUNCTION]に[MTX Dugan Automixer]を追加しました。
- MRX7-D の Dugan Automixer と Room Combiner plus Automixer の最大マイク入力数を 24 本に増やしました。
- MRX7-D の Matrix Mixer で入出力の選択肢として 40/48/56 チャンネルを追加しました。
- DCP の従来の[MTX Source Select]を[Legacy - MTX Source Select]と改名し、機能を改善した[MTX Source Select]を追加しました。
- Wireless DCP の設定として[MTX Source Select]と[MRX Source Select]を追加しました。
- MRX Designer の[File]メニューに「File Transfer」アプリケーションを呼び出すコマンドを追加しました。これにより同じネットワーク内にある ProVisionaire Touch がインストールされている iPad に rcsl ファイルなどを転送できます。

改善点

- Preset ダイアログを開いたままで、コンポーネントのパラメーターを操作できるようにしました。
- MTX5-D と MRX7-D の SLOT に挿入する Mini-YGDAI カードの選択肢に Dante-MY16AUD2 を追加しました。

- MRX の Delay Matrix コンポーネントで Delay 値を ms/sample/meter/feet で編集できるようしました。

MRX7-D V3.00

新機能

- Dugan Automixer と Room Combiner plus Automixer の最大マイク入力数を 24 本に増やしました。
- Matrix Mixer で入出力に 40/48/56 チャンネルを追加しました。

改善点

- 対応 Mini-YGDAI カードに Dante-MY16-AUD2 を追加しました。

MTX5-D V3.00

新機能

- INPUT に Dugan Automixer を追加しました。

改善点

- 対応 Mini-YGDAI カードに Dante-MY16-AUD2 を追加しました。

MTX3 V3.00

新機能

- INPUT に Dugan Automixer を追加しました。

Exi8 V3.00 / EXo8 V3.00 / XMV V3.00

- 新機能、修正などはありません。

MTX-MRX Editor V2.2.1

改善点

- 画面表示に関する動作を改善しました。

修正した不具合

- パラメーターリンクグループを作成していない状態で「Parameter Link Group」エリアで [Open Link Master]コマンドを実行すると、強制終了することがある不具合を修正しました。

- 「Remote Control Setup List」ダイアログで [Insert Cut Data]や[Cut]&[Paste]を実行すると、生じることがある不具合を修正しました。

- 下記コンパイラーの不具合を修正しました。運用中のシステムでは影響ありません。

  V2.1.x ではコンパイルの Connections が OK だったコンフィグレーションが、V2.2.0 ではコンパイルの Connections が Failed となることがある不具合を修正しました。

  コンフィグレーションの中に複数のループバックが存在するときに、コンパイルの Connections が Failed となることがある不具合を修正しました。

  Matrix Mixer コンポーネントの出力をパラレルアウトプットすると、結線どおりに音声が出力されないことがある不具合を修正しました。

  DSP の Processing が 100%に近い状態の場合、一部チャンネルの音声が出力されないことがある不具合を修正しました。

- その他軽微な不具合を修正しました。

MTX-MRX Editor V2.2.0

新機能

- MRX Designer に「Delay Matrix」、「Effect」、「Paging Ducker」、「Pitch Shift FBS」、「Transmitter/Receiver」コンポーネントを追加しました。「Pitch Shift FBS」コンポーネントの追加に伴い、従来の「Feedback Suppressor」コンポーネントの名称を「Notch FBS」に変更しました。

- MRX Designer で信号経路の検索および表示ができるようにしました。([Trace Signal Path])

- MRX Designer でポート間を結線するときに、自動的にポートの名称を複製できるようにしました。([Duplicate Port Label])

  MRX Designer でポートの名称を信号経路に沿って複製できるようにしました。([Duplicate Port Label - to the right] / [Duplicate Port Label - to the left])

- Speaker Processor に VXC F シリーズと VXS F シリーズのライブラリーを追加しました。

改善点

- YDIF 接続順の制限を無くしました。

- MRX Designer の「Properties」エリアでポートの Label 領域から名称を変更するための「Port Name」ダイアログを呼び出せるようにしました。

- MRX Designer の User Defined Block に PIN コードによる保護機能を追加しました。
- MRX Designer の User Defined Block の内部に Input/Output のコンポーネントを配置できるようにしました。
- MRX Designer の User Defined Block の入出力数の設定に 0 を追加しました。
- MRX Designer のデザインシート上に印刷範囲を表示できるようにしました。
- MRX Designer のデザインシート上にルーラーを追加しました。
- MRX Designer の操作性向上のため、ショートカットキーを追加/変更しました。(ポートの選択、コンポーネントの移動、「Components」/「Parameter Sets」/「Parameter Link Group」/「Parameters」の各エリアでのパラメーター検索など)
- MRX Designer のユーザースタイルをプロジェクトファイルに保存できるようにしました。
- MRX Designer の「Ducking」コンポーネントの名称を「Ducker」に変更しました。
- GPI、Digital Control Panel、Wireless DCP で MTX3/MTX5-D の Priority Ducker のオン/オフをコントロールできるようにしました。
- DANTE 出力を自機の DANTE 入力に戻せるようにしました。
- XMV の HPF 設定を Project 画面で編集できるようにしました。
- MRX Designer で音声経路をループさせてもコンパイルできるようにしました。
- MRX Designer のコンポーネントエディターのコンテキストメニューに[Copy]と[Paste Parameters]を追加しました。
- MRX Designer のコンパイラーを改善しました。

修正した不具合

- Device Configuration Wizard で削除した MRX7-D のパラメーターが、パラメーターセットとパラメーターリンクグループに残ってしまう不具合を修正しました。

MRX7-D V2.20

新機能

- 「Delay Matrix」、「Effect」、「Paging Ducker」、「Pitch Shift FBS」機能を追加しました。

MTX5-D V2.20 / MTX3 V2.20 / Exi8 V2.20 / EXo8 V2.20 / XMV V2.20

- 単独の不具合修正などはありません。

MTX-MRX Editor V2.1.2

修正した不具合

- パラメーターリンクグループのリンクマスターをパラメーターセットに登録したあと、パラメーターリンクグループの名称を変更すると、MTX-MRX Editor が強制終了する不具合を修正しました。

- PEQ や Delay のパラメーターをパラメーターセットやパラメーターリンクグループに登録したあと、「Properties」エリアで Form を変更すると MTX-MRX Editor が強制終了することがある不具合を修正しました。

- [To Device]でオンラインにしたあと、一度オフラインにして、同じプロジェクトファイルの Wireless DCP に新規の Library をセーブし、[From Device]でオンラインにすると正常にオンラインにならないことがある不具合を修正しました。

- コンポーネントの名称を変更したとき、パラメーターリンクグループに登録されているコンポーネントの名称が変更されないことがある不具合を修正しました。

- Windows の「タイム ゾーンの設定」ダイアログで、[自動的に夏時間の調整をする]にチェックが入っていると、イベントの表示日がずれることがある不具合を修正しました。表示だけの問題で、機器は正常に動作します。

MTX-MRX Editor V2.1.1

修正した不具合

- 「Acoustic Echo Canceller」コンポーネントを 4 つと「Speech Privacy」コンポーネントを配置すると、最後に配置した「Acoustic Echo Canceller」コンポーネントから音声信号が出力されない不具合を修正しました。

- コンパイルしたときのリソース計算の不具合により、MRX7-D から音声信号が出力されないことがある不具合を修正しました。

- 「Security Settings」ダイアログでセキュリティを設定したあと、[To Device]で同期をし、オフラインにしたあと再度「Security Settings」ダイアログで PIN コードを変更してセキュリティを設定すると、[To Device]で同期できない不具合を修正しました。
- MTX に接続した DCP から MRX7-D のパラメーターリンクグループのリンクマスターが操作できない不具合を修正しました。
- 以下のコンポーネントが User Defined Block の内外にある入出力ポートに直結していると、音声信号が流れない不具合を修正しました。
    - SLOT に MY4-AEC を設定したときの「MY4-AEC(IN)」「MY4-AEC」「MY4-AEC(OUT)」の各コンポーネント
    - 「Dugan Automixer」コンポーネント
    - 「Room Combiner plus Automixer」コンポーネント
- 「Room Combiner」コンポーネントまたは「Room Combiner plus Automixer」コンポーネントを削除したあと、[Undo]コマンドで削除を取り消すと、部屋の情報が消える不具合を修正しました。
- プリセットから Wireless DCP のライブラリーが削除できない不具合を修正しました。
- パラメーターリンクグループを作成したあとに MRX7-D の機器名を変更すると、MTX-MRX Editor が強制終了する不具合を修正しました。
- 「Properties」エリアの「Form」で「Delay」コンポーネントの遅延量の最大値を変更したあと、[Undo]で変更を取り消すと MTX-MRX Editor が強制終了する不具合を修正しました。
- 「Remote Control Setup List」ダイアログでパラメーターをカットしたあと、カットした番号より若い番号で[Insert Cut Data]を実行すると、番号が重複し、[OK]ボタンをクリックすると[Insert Cut Data]で挿入されたパラメーターが削除されてしまう不具合を修正しました。
- User Defined Block をコピー＆ペーストすると、ペーストした User Defined Block のサイズが大きくなる不具合を修正しました。

MRX7-D V2.11

修正した不具合

- 複数の Acoustic Echo Canceller(AEC)を配置して、1 つの AEC に異なるコンポーネントから信号を入力すると、音がうねったり、音が出力されないことがある不具合を修正しました。

MTX5-D V2.11 / MTX3 V2.11 / Exi8 V2.11 / EXo8 V2.11 / XMV V2.11

- 単独の不具合修正などはありません。

お知らせ

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
    - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
    - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。

MTX-MRX Editor V2.1.0

新機能

- MRX Designer に「Acoustic Echo Canceller」コンポーネントを追加しました。
- MRX Designer に「revolabs control」コンポーネントを追加しました。
- MRX Designer にインプットとアウトプットのコンポーネントを追加しました。これにともない、初期状態ではインプットとアウトプットのコンポーネントをデザインシートに配置しないように仕様を変更しました。

MRX Designer に User Defined Block 機能を追加しました。複数のコンポーネントをまとめて 1 つのコンポーネントのように扱うことができる機能です。[Help]メニューの[Operation Manual]または MRX Designer ユーザーガイドを参照してください。

改善点

- MRX Designer の[Edit]メニューに[Select All Wires]を追加しました。デザインシート上のすべてのワイヤーのみ選択できます。
- MRX Designer の[Edit]メニューに[Unbundle Wires]と[Bundle Wires]を追加しました。[Unbundle Wires]では重なって表示されていた複数のワイヤーを等間隔で表示します。[Bundle Wires]では重ねて表示できる部分のワイヤーを重ねて表示します。[Help]メニューの[Operation Manual]または MRX Designer ユーザーガイドを参照してください。
- MRX Designer の[File]メニューに[Reset Style to Factory Default]を追加しました。ユーザースタイルを MTX-MRX Editor インストール直後の状態にします。
- MRX Designer の「Properties」エリアで、複数のオブジェクトの設定を一斉に変更できるようになりました。[Help]メニューの[Operation Manual]または MRX Designer ユーザーガイドを参照してください。
- MRX Designer の「Router」コンポーネントの「Router」コンポーネントエディターのマス目で+ドラッグ&ドロップ操作でも Parameter Sets や Remote Control List に登録できるようになりました。
- MRX Designer の Matrix Mixer などの一部コンポーネントで、コンポーネントエディターでポート名を表示/編集できるようにしました。
- MRX Designer の「Remote Control Setup List」ダイアログで、リストを右クリックすると表示されるコンテキストメニューに[Insert]や[Swap]などのリスト編集用機能を追加しました。
- MRX Designer の「Remote Control Setup List」ダイアログに[Search]ボタンを追加しました。リスト内に登録されているアイテムを検索できるようにしました。
- 「Digital Control Panel」ダイアログ、「Wireless DCP」ダイアログと「GPI」ダイアログにメニューボタンを追加しました。同じシステム内の同じ機器間などでコピー&ペーストなどができるようになりました。
- MTX-MRX Editor の「DANTE」画面で 16 チャンネルごとに展開/省略表示ができるようになりました。また、ドラッグ&ドロップで機器の順番を入れ替えられるようにしました。

修正した不具合

- 「Dugan Automixer」コンポーネントや「Room Combiner plus Automixer」コンポーネントと SOURCE が 8 に設定されている「Source Selector」コンポーネントを配置してコンパイルすると、コンパイルができない、またはリソース計算を間違えることがある不具合を修正しました。この修正により SOURCE が 8 に設定されている「Source Selector」コンポーネントのリソースが微増しています。

MRX7-D V2.10

新機能

- 「Acoustic Echo Canceller」コンポーネントを追加しました。
- 「revolabs control」コンポーネントを追加しました。

修正した不具合

- リモートコントローラーでリンクマスターを動かし続けると、外部からのコントロール(MRX Designer/DCP/Wireless CCP/ProVisionaire Touch を含む)を受け付けなくなることがある不具合を修正しました。
- リモートコントローラーで MRX にコマンドを送信すると、下のパラメーターで意図しない動作を起こす不具合を修正しました。
  - IndexNo が異なる set 系コマンドを大量に MRX が受信すると、MRX は値を設定して Internal Error を送信し、かつ値が変わると NOTIFY を送信することがある不具合。

MTX5-D V2.10 / MTX3 V2.10

修正した不具合

- リモートコントローラーで MTX にコマンドを送信すると、下のパラメーターで意図しない動作を起こす不具合を修正しました。
  - PEQ の Frequency パラメーターの最大値を超える設定を MTX が受信すると、MTX は丸めた最大値を設定して、OKm ではなく OK で丸めた最大値を送信する不具合。

EXi8 V2.10 / EXo8 V2.10 / XMV V2.10

- 単独の不具合修正などはありません。

MRX7-D V2.03

仕様変更

- リモートコントロールのコマンドを返すときのインデックス番号(Remote Control Setup List の登録番号)の扱いを変更しました。詳細については最新の「MTX3 MTX5-D MRX7-D XMV シリーズ EXi8 EXo8 リモートコントロールプロトコル仕様書」を参照してください。

修正した不具合

- リンクマスターのパラメーターを操作中にスナップショットをリコールすると、まれにリンクマスターのパラメーター以外のパラメーターが操作できなくなることがある不具合を修正しました。

MTX5-D V2.03 / MTX3 V2.03

- 単独の不具合修正などはありません。

既知の不具合

- リモートコントローラーで MTX にコマンドを送信すると、以下のパラメーターで意図しない動作を起こします。
    - PEQ の Frequency パラメーターの最大値を超える設定を MTX が受信すると、MTX は丸めた最大値を設定して、OKm ではなく OK で丸めた最大値を送信します。

EXi8 V2.03 / EXo8 V2.03 / XMV V2.03

- 単独の不具合修正などはありません。

お知らせ

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
    - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
    - 31 文字まで対応しています。
- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。MTX-MRX Editor で

設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。

MTX-MRX Editor V2.0.2

修正した不具合

- Parameter Link Group の Link Master が含まれたスナップショットをリコールしたとき、Parameter Link Group に所属するパラメーターがリコールされないことがある不具合を修正しました。
- System Resource Usage が 100%を超えているのに、コンパイル結果が「正常に終了しました」と誤って表示されることがある不具合を修正しました。
- 2in2out のコンポーネントから Mono keyIn があるコンポーネントに結線すると、2in2out コンポーネントが機能しない不具合を修正しました。

MRX7-D V2.02

修正した不具合

- RoomCombiner および RoomCombiner plus Automixer をスナップショットに登録してリコールすると、MTX-MRX Editor や外部コントローラーの表示と MRX7-D の動作が異なることがある不具合を修正しました。

MTX3 V2.02 / MTX5-D V2.02

修正した不具合

- リモートコントローラーで MTX にコマンドを送信すると、以下のパラメーターで意図しない動作を起こす不具合を修正しました。
    - PEQ の Q、Dynamics 系の HOLD/ATTACK/RELEASE/DECAY/KNEE のパラメーターで最小値未満の設定を MTX が受信すると、MTX は最大値を設定して、OKm で最大値を送信する不具合。

- Delay のパラメーターで範囲外の設定を MTX が受信すると、MTX は設定を変更せず、OKm を丸めた最大値と最小値を逆にして送信する不具合。

既知の不具合

- リモートコントローラーで MTX にコマンドを送信すると、以下のパラメーターで意図しない動作を起こします。
  - PEQ の Frequency パラメーターの最大値を超える設定を MTX が受信すると、MTX は丸めた最大値を設定して、OKm ではなく OK で丸めた最大値を送信します。

EXi8 V2.02 / EXo8 V2.02

修正した不具合

- YDIF の Patch の状態によっては、起動時に 2 秒ほど発振音が流れてしまう不具合を修正しました。

お知らせ

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。
  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。
  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
  - 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
  - 31 文字まで対応しています。

- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
  MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
  Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。

MTX/MRX システム全体(V2.0)

新機能

- MRX7-D に対応しました。これにともない、システムの名称を MTX/MRX システムに、エディターの名称を MTX-MRX Editor に変更しました。

MTX-MRX Editor V2.0.1

改善点

- Dante の Latency 2.0msec に対応しました。
- MTX5-D、XMV-D のフロントパネルにある[SYNC]インジケーターを常時消灯にできるようにしました。
- Dante のパッチ画面をグリッド形式に変更しました。

MTX3 V2.01 / MTX5-D V2.01

修正した不具合

- Speaker Processor のディレイが、エディターでの表示と実機の動作でずれることがある不具合を修正しました。

既知の不具合

- リモートコントローラーで MTX にコマンドを送信すると、以下のパラメーターで意図しない動作を起こします。
    - PEQ の Q、Dynamics 系の HOLD/ATTACK/RELEASE/DECAY/KNEE のパラメーターで最小値未満の設定を MTX が受信すると、MTX は最大値を設定して、OKm で最大値を送信します。
    - Delay のパラメーターで範囲外の設定を MTX が受信すると、MTX は設定を変更せず、OKm を丸めた最大値と最小値を逆にして送信します。
    - PEQ の Frequency パラメーターの最大値を超える設定を MTX が受信すると、MTX は丸めた最大値を設定して、OKm ではなく OK で丸めた最大値を送信します。

MTX3 V2.01 / MTX5-D V2.01

修正した不具合

- 外部から供給されるクロックソースの周波数が 44.1kHz から 48kHz、またはその逆へ変化したときに、アラート 28 が出ていた不具合を修正しました。

お知らせ

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。 また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

  任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。

- 31 文字まで対応しています。

- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは MTX-MRX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。 MTX-MRX Editor で設定変更をする場合は、MTX-MRX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。 Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。

  Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。

Firmware 共通 (V1.32)

修正した不具合

- リモートコントロールコマンド"setn"で範囲外の値を受信すると、エラーを返して値を反映させない不具合を修正しました。範囲外の値を受信したときの処理についてはリモートコントロールプロトコル仕様書を参照してください。

XMV-D (V1.32)

修正した不具合

- 電源を切ったときに、ボツ音が発生することがある不具合を修正しました。

既知の不具合

- 外部から供給されるクロックソースの周波数が 44.1kHz から 48kHz、またはその逆へ変化したときに、Dante のワードクロック設定を追従させるよう自動的に変更を行なったという意味のアラート 28 が表示されますが、実際には Dante のワードクロック設定は追従しません。
- クロックソースの周波数を変更したときは MTX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
- MTX Editor で設定変更をする場合は、MTX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
- Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
- Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。アラート 28 が出てしまう不具合は、将来のアップデートで修正します。

お知らせ

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できます。変更するには Dante Controller を使用してください。

  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。
- 任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。
- 31 文字まで対応しています。

Firmware 共通(V1.31)

改善点

- Dante 対応モデルでは、Dante Device Label を任意に変更して運用できるようになりました。変更するには Dante Controller を使用してください。

  ただし、先頭の 5 文字は UNIT ID で決まる機器識別用の領域ですので変更しないでください。6 文字目以降を任意に変更できます。

  また、この製品に限定されない Dante 機器共通の仕様として Dante Device Label には下記ルールがあります。

  任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン))が使用可能です。

  31 文字まで対応しています。

- firmware V1.30 以前では、Dante Device Label を変更しても、機器の電源再起動により自動的に機器固有のデフォルトの Dante Device Label に上書きする仕様でした。

修正した不具合

- MTX Editor で数十台の Dante のパッチ設定をしたあと、MTX Editor から機器に同期処理をすると、パッチの一部が反映されないことがある不具合を修正しました。この修正のため、MTX Editor が Dante のパッチ設定変更を数十台に実施するような設定になっている場合、同期が完了（MTX Editor が To Device で Online 状態に移行）しても実際にパッチが適用されて音が出るまでには数分かかることがあります。

既知の不具合

- 外部から供給されるクロックソースの周波数が 44.1kHz から 48kHz、またはその逆へ変化したときに、Dante のワードクロック設定を追従させるよう自動的に変更を行なったという意味のアラート 28 が表示されますが、実際には Dante のワードクロック設定は追従しません。
- クロックソースの周波数を変更したときは MTX Editor か Dante Controller を使って Dante のワードクロック設定も変更してください。
- MTX Editor で設定変更をする場合は、MTX Editor の「Word Clock」ダイアログで System Word Clock Fs を適切に選択し、「To Device」で同期してください。
- Dante Controller での変更方法は、Dante Controller のヘルプもしくはユーザーガイドを参照してください。
- Dante のワードクロック設定を追従させることは、システム内の一部に意図しない変化が起こった場合に全体に波及して大きなトラブルになる可能性があるため、今後も行ないません。アラート 28 が出てしまう不具合は、将来のアップデートで修正します。

お知らせ

- 外部から供給されるクロックソースの周波数を変更したときは Dante Controller か MTX Editor を使って Dante のワードクロックの値も変更してください。

MTX システム全体(V1.3)

新機能

- モノラル入力チャンネルを MTX Configuration ウィンドウでステレオに設定できるようにしました。
- すべての MTX がタイムサーバーに同期できるようにしました。
- DCP のスイッチに入力レベルとセンドレベルの増減を割り当てられるようにしました。

- DCP のスイッチで入力ソースの切り替えができるようにしました。また、切り替えた入力ソースレベルの増減を DCP のノブまたはスイッチに割り当てることができます。
- Wireless DCP を含む外部リモートコントローラーを 8 台まで NETWORK 端子または Dante 端子に接続できるようにしました。RS-232C 端子に 1 台接続することもできます。

Firmware 共通(V1.3)

新機能

- Remote Control に Setr コマンドを追加しました。フェーダーおよびセンドレベルを増減できるようになりました。詳細については「MTX3 MTX5-D XMV シリーズ EXi8 EXo8 リモートコントロールプロトコル仕様書」を参照してください。

修正した不具合

- まれに MTX システムの機器間でパラメーター値が異なることがある不具合を修正しました。
- 外部リモートコントローラーを MTX システムから切断したあと、再度外部リモートコントローラーを接続すると、前の外部リモートコントローラーの設定が MTX システムに残ることがある不具合を修正しました。

MTX Editor V1.3.0

新機能

- Project 画面で、DCP 以外の機器のイラストをダブルクリックすると、機器のリアパネルにあるディップスイッチの説明や設定を表示するようにしました。MTX Editor がオンラインまたは機器を認識している場合、ディップスイッチの設定が表示されます。詳細については MTX Editor 取扱説明書を参照してください。

改善点

- MTX Editor から機器本体ファームウェアをアップデートするときに、手動で機器本体ファームウェアのフォルダーを指定しなくてもアップデートできるようにしました。MTX Editor V1.3 をインストールすると対応したファームウェアが入っているフォルダーを自動的に指定します。
- オンライン状態のとき、Project 画面の「Device」タブで、機器本体の[YDIF]インジケーター、[SCHEDULER]インジケーター、[SD/ACT]インジケーターの状態を確認できるようにしました。

- 「EXT. I/O」画面の「YDIF」画面で、YDIF 信号の流れを理解しやすいように、表示を改善しました。

修正した不具合

- MTX5-D の入力チャンネル 9 番以降の[SEL]ボタンを右クリックして[Channel Copy]を選択し、任意のチャンネルにて[Channel Paste]を選択しても、[ON]ボタンの状態とフェーダーの値がペーストされない不具合を修正しました。
- Speaker Processor 2Way 同士でコピー&ペーストしても、HIGH バンドの PEQ のオン/オフの状態と、OUTPUT LEVEL の値がペーストされない不具合を修正しました。
- ネットワーク上に存在する MTX を「Device Configuration Wizard」ダイアログで一度削除して、同じ ID の MTX を再配置するとウィザードが終了できない不具合を修正しました。

  「Device Configuration Wizard」ダイアログで MTX5-D に MY4-AEC または MY8-AE96S を設定してから SRC を設定しても、再度「Device Configuration Wizard」ダイアログを実行すると SRC の設定が初期値になる不具合を修正しました。

MTX3 Firmware V1.30 / MTX5-D Firmware V1.30

修正した不具合

- ルーターのオン/オフをプリセットで切り替えると、音声が出力されなくなることがある不具合を修正しました。
- スケジューラーで SD Song Select & Play の Pause が実行されてもアラート番号 210 がログに残らない不具合を修正しました。
- スケジューラーで同時刻のイベントを 4 つ以上登録すると、実行されないイベントがある不具合を修正しました。
- MTX Editor および外部リモートコントローラーからサマータイム関連の変更をしたときにサマータイム関連の NOTIFY が機器から発行されない不具合を修正しました。

XMV Firmware V1.30

修正した不具合

- 1000 秒間以上の無音状態から音声を入力すると、音声の出力がフェードインされてしまう不具合を修正しました。
- ハイインピーダンス接続の設定で初期化を実行すると、HPF の値が 80Hz ではなく 40Hz になる不具合を修正しました。

EXi8/EXo8 Firmware V1.30

- 単独の不具合修正などはありません。

MTX Editor V1.2.2

修正した不具合

- 「MTX Configuration」ダイアログの OUTPUT CHANNEL SETUP で 2WAY にしている状態で「ROUTER」タブを選択すると、2WAY になっている奇数チャンネルのチャンネル名が表示されない不具合を修正しました。
- MTX5-D のダイレクト入力チャンネル(CH17 から CH24)にプリセットの Recall Filter を設定した場合、設定したチャンネルよりも 1 つ少ないチャンネル番号に Recall Filter が適用されてしまう不具合を修正しました。

MTX3 Firmware V1.20

新機能

- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデータがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- 「MTX Configuration」ダイアログで STIN2 のチャンネルを MONOx2 設定した場合も、COMP がステレオリンクになる不具合を修正しました。
- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがある不具合を修正しました。

- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

MTX5-D Firmware V1.20

新機能

- MY4-AEC に対応しました。
- DUGAN-MY16 に対応しました。
- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)
- Dante Controller の Identify 機能に対応しました。

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデータがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- MY8-AE96S の SRC のオン/オフ設定が MTX5-D に保存できない不具合を修正しました。
- 「MTX Configuration」ダイアログで STIN2 のチャンネルを MONOx2 設定した場合も、COMP がステレオリンクになる不具合不具合を修正しました。
- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがある不具合を修正しました。
- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

XMV Firmware V1.20

新機能

- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)
- Dante 対応モデルが Dante Controller の Identify 機能に対応しました。

- YDIF および Dante からの入力感度に従来の-3dBFs に加えて、-20dBFs を追加しました。「-20dBFS」を選択すると、アナログ端子の入力感度と同じになります。

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデータがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- Dante からの入力が設定されている XMV の UNIT ID を、Dante からの入力が設定されていない XMV の UNIT ID に切り替えると、Dante からの入力が解除されないことがある不具合を修正しました。
- Dante 対応モデルの電源をオフにした状態で MTX Editor から同期を実行すると、電源をオンにしたときに Dante からの入力が解除されないことがある不具合を修正しました。

  IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

EXi8/EXo8 Firmware V1.20

新機能

- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデータがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

(*1) 選択可能サブネットマスク一覧

128.0.0.0	192.0.0.0	224.0.0.0	240.0.0.0	248.0.0.0	252.0.0.0

254.0.0.0	255.0.0.0	255.128.0.0	255.192.0.0	255.224.0.0	255.240.0.0
255.248.0.0	255.252.0.0	255.254.0.0	255.255.0.0	255.255.128.0	255.255.192.0
255.255.224.0	255.255.240.0	255.255.248.0	255.255.252.0	255.255.254.0	255.255.255.0(*)
255.255.255.128	255.255.255.192	255.255.255.224	255.255.255.240	255.255.255.248	255.255.255.252

* 初期値

MTX Editor V1.2.1

新機能

- MTX5-D が MY4-AEC に対応しました。「MY4-AEC」画面で設定をしてください。
- DUGAN-MY16 に対応しました。MTX5-D の入力チャンネル 1～16 の POST ON インサート機能を追加しましたので、必要なチャンネルに DUGAN-MY16 をインサートしてください。DUGAN-MY16 の設定は専用アプリケーションで行なってください。
- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張し、使用できる IP アドレスの範囲を広げました。(*1)
- 「Alert」タブの[Alert]に解決策を表示するための青いボタンを追加しました。
- 「Device」タブで XMV のデジタル入力感度を変更できるようにしました。

修正した不具合

- 入力チャンネルで SLOT を入力ポートとして選択すると、ポート/外部機器のパラメーター呼び出しボタンにインジケーターが表示されない不具合を修正しました。
- システム名にカンマ(,)があると、取得したアラートログの csv ファイルで、項目がずれる不具合を修正しました。
- コンピューターのネットワークアダプターに複数の IP アドレスが設定されている場合、機器起動後に MTX Editor を起動すると、MTX Editor が機器を認識できないことがある不具合に対応しました。
- 「MTX Configuration」ダイアログで、MTX5-D の STEREO INPUT CHANNEL SETUP の 3L/3R を MONOx2 にすると、「Digital Control Panel」ダイアログ、「Wireless DCP」ダイア

ログ、「GPI」ダイアログのパラメーターで STIN1 が STIN 1L/STIN 1R になってしまう不具合を修正しました。

改善点

- ライブラリの Store 機能と Recall 機能を「Digital Control Panel」ダイアログと「Wireless DCP」ダイアログに追加しました。
- ツールボタンのプリセット選択リストボックスをボタンに変更しました。クリックすると現在のプリセットが上書きされるので、現在のプリセット設定を早くストアできます。
- 「MATRIX」画面の入力チャンネルマトリクス上で右クリックすることで、センドのオン/オフやセンドレベルを一括で設定できるようにしました。
- 「EFFECT」画面の[EFFECT SEND]ボタンを右クリックすることで、センドレベルを一括で設定できるようにしました。
- 「Scheduler」ダイアログにイベントの[All Clear]ボタンを追加するなど、操作性と視認性を向上させました。
- Password を PIN コードに名称変更しました。
- 「Input Patch」ダイアログと「Output Patch」ダイアログで、設定するチャンネルを切り替えられるようにしました。
- 「CHANNEL EDIT」画面を「INPUT」画面と「OUTPUT」画面に分離しました。
- 「MAIN」画面で、入力チャンネルのパラメーター編集画面を 8 チャンネル単位で表示するようにしました。
- 「MAIN」画面で、出力チャンネルのパラメーター編集画面の表示を Analog、YDIF、Dante といった接続フォーマットごとにわけ、また機器を識別しやすいように画面構成を変更しました。
- 「Clock」ダイアログで機器の時刻情報を表示するようにしました。
- 「XMV」画面と「EXo8」画面で、右クリックすると機器単位で設定をコピー&ペーストできるようにしました。
- 「Project」画面で、デジタルコントロールパネルが MTX に接続されていない場合は、デジタルコントロールパネルをグレーアウト表示にして、接続されていないことがわかるようにしました。

MTX3 Firmware V1.20

新機能

- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデーターがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- 「MTX Configuration」ダイアログで STIN2 のチャンネルを MONOx2 設定した場合も、COMP がステレオリンクになる不具合を修正しました。
- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがある不具合を修正しました。
- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

MTX5-D Firmware V1.20

新機能

- MY4-AEC に対応しました。
- DUGAN-MY16 に対応しました。
- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)
- Dante Controller の Identify 機能に対応しました。

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデーターがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- MY8-AE96S の SRC のオン/オフ設定が MTX5-D に保存できない不具合を修正しました。
- 「MTX Configuration」ダイアログで STIN2 のチャンネルを MONOx2 設定した場合も、COMP がステレオリンクになる不具合不具合を修正しました。
- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがある不具合を修正しました。

- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

XMV Firmware V1.20

新機能

- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)
- Dante 対応モデルが Dante Controller の Identify 機能に対応しました。
- YDIF および Dante からの入力感度に従来の-3dBFs に加えて、-20dBFs を追加しました。「-20dBFS」を選択すると、アナログ端子の入力感度と同じになります。

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデーターがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマンドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。
- Dante からの入力が設定されている XMV の UNIT ID を、Dante からの入力が設定されていない XMV の UNIT ID に切り替えると、Dante からの入力が解除されないことがある不具合を修正しました。
- Dante 対応モデルの電源をオフにした状態で MTX Editor から同期を実行すると、電源をオンにしたときに Dante からの入力が解除されないことがある不具合を修正しました。
- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

EXi8/EXo8 Firmware V1.20

新機能

- 機器のサブネットマスクの設定選択肢を拡張しました。(*1)

修正した不具合

- 起動直後のリモートコントロール開始時に、不要なデーターがデバイスから送信される不具合を修正しました。これに伴い、リモートコントロール開始時は、"devstatus runmode" コマン

ドをデバイスへ送信しないとその他のコマンドを受け付けない仕様に変更しました。最新のプロトコル仕様書で必要なシーケンスをご確認ください。

- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)にならない不具合を修正しました。

MTX Editor V1.1.2

修正した不具合

- MTX5-D で DUCKER が動作しても、ZONE 画面の DUCKER のインジケーターが点灯しない不具合を修正しました。

MTX3 Firmware V1.12

新機能

- NETWORK 端子と[RS-232C]端子を使ったリモートコントロールができるようになりました。詳細については、製品のページや「技術資料・各種データ」からダウンロードできる「MTX リモートコントロール プロトコル仕様書」を参照してください。

修正した不具合

- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがある不具合を修正しました。
- MTX Editor の「Digital Control Panel」ダイアログボックスの DCP 選択コンボボックスや「Wireless DCP」ダイアログボックスの MTX 選択コンボボックスで設定した MTX 以外の MTX のパラメーターを DCP や Wireless DCP で操作すると、操作した結果が反映されないことがある不具合を修正しました。
- プリセット番号が MTX 本体や MTX Editor での表示と Wireless DCP での表示で食い違うことがある不具合を修正しました。
- 再生している曲を一時停止(Pause)するプリセットをリコールしても、Wireless DCP での表示が PAUSE にならないことがある不具合を修正しました。
- 再生可能な曲データが入っていない SD メモリーカードが挿入されている状態で Wireless DCP で Stop ボタンまたは Play ボタンを押すと、不適切なメッセージが表示される不具合を修正しました。

既知の不具合

- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがあります。この場合は、本体の電源を入れ直してから再度取得してください。
- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)になりません。機器を初期化するか、IP SETTING を PC(ディップスイッチ 6 下側)にして機器の IP アドレスを 192.168.0.x にしてください。

MTX5-D Firmware V1.12

新機能

- NETWORK 端子と[RS-232C]端子を使ったリモートコントロールができるようになりました。詳細については、製品のページや「技術資料・各種データ」からダウンロードできる「MTX リモートコントロール プロトコル仕様書」を参照してください。

修正した不具合

- MTX Editor と To Device で同期しても、Dante のパッチ設定が MTX5-D に反映されないことがある不具合を修正しました。
- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがある不具合を修正しました。
- MTX Editor の「Digital Control Panel」ダイアログボックスや「Wireless DCP」ダイアログボックスの MTX 選択コンボボックスで設定した MTX 以外の MTX のパラメーターを DCP や Wireless DCP で操作すると、操作した結果が反映されないことがある不具合を修正しました。
- プリセット番号が MTX 本体や MTX Editor での表示と Wireless DCP での表示で食い違うことがある不具合を修正しました。
- 再生している曲を一時停止(Pause)するプリセットをリコールしても、Wireless DCP での表示が PAUSE にならないことがある不具合を修正しました。
- 再生可能な曲データが入っていない SD メモリーカードが挿入されている状態で Wireless DCP で Stop ボタンまたは Play ボタンを押すと、「Error event Internal Error」が表示される不具合を修正しました。
- AES/EBU 対応の Mini-YGDAI カードを挿入した場合、カードから出力されるデジタル信号の各種情報（サンプリングレートやエンファシスなど）の値が異なる不具合を修正しました。

既知の不具合

- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがあります。この場合は、本体の電源を入れ直してから再度取得してください。
- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)になりません。機器を初期化するか、IP SETTING を PC(ディップスイッチ 6 下側)にして機器の IP アドレスを 192.168.0.x にしてください。

XMV Firmware V1.12

新機能

- NETWORK 端子を経由したリモートコントロールができるようになりました。 詳細については、製品のページや「技術資料・各種データ」からダウンロードできる「MTX リモートコントロール プロトコル仕様書」を参照してください。

修正した不具合

- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがある不具合を修正しました。既知の不具合
- Dante からの入力が設定されている XMV の UNIT ID を、Dante からの入力が設定されていない XMV の UNIT ID に切り替えると、Dante からの入力が解除されないことがあります。

  UNIT ID を変更する場合は初期化を実施してください。

  Dante 対応モデルの電源をオフにした状態で MTX Editor から同期を実行すると、電源をオンにしたときに Dante からの入力が解除されないことがあります。この場合は MTX Editor で Dante の設定を再度行なってください。
- IP SETTING が PC(機器設定ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(機器設定ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)になりません。機器を初期化するか、IP SETTING を PC(機器設定ディップスイッチ 6 下側)にして機器の IP アドレスを 192.168.0.x にしてください。

EXi8/EXo8 Firmware V1.12

新機能

- NETWORK 端子を経由したリモートコントロールができるようになりました。 詳細については、製品のページや「技術資料・各種データ」からダウンロードできる「MTX リモートコントロールプロトコル仕様書」を参照してください。

修正した不具合

- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがある不具合を修正しました。

既知の不具合

- IP SETTING が PC(ディップスイッチ 6 下側)のときに IP アドレスを 192.168.0.x 以外に設定すると、IP SETTING を UNIT ID(ディップスイッチ 6 上側)に変更しても、機器の IP アドレスが 192.168.0.(UNIT ID)になりません。機器を初期化するか、IP SETTING を PC(ディップスイッチ 6 下側)にして機器の IP アドレスを 192.168.0.x にしてください。

MTX Editor V1.1.1

新機能

- 以下のモデルに対応しました。MTX Editor で Dante 対応機器（MTX5-D/ XMV4280-D / XMV4140-D/ XMV8280-D / XMV8140-D）の Dante の設定ができます。
  MTX5-D
  XMV4280-D / XMV4140-D
  XMV8280 / XMV8140 / XMV8280-D / XMV8140-D
  EXi8 / EXo8
  DCP4S-US/EU
  DCP4V4S-US/EU
- 一つのプロジェクトで最大 4 つの MTX システムを設定できるようになりました。 また、MTX システム間でプリセットの連動ができます。
- XMV や EXo8 のパラメーターを一覧で表示および設定をする「XMV」画面と「EXo8」画面を追加しました。
- Project 画面で以下の機能を追加しました。
  XMV の DIMMER を設定する
  XMV の OUTPUT SETUP を表示する
- 入力チャンネルのメーターポイントを EQ OUT と POST ON に切り換えられるようになりました。

- 「Preset」ダイアログで、プリセットをリコールしたときにスケジューラー機能を無効にできるようになりました。
- 「Device Information」ダイアログで、機器のシリアルナンバーとバッテリー内蔵機器のバッテリー残量が表示されるようになりました。
- DCP1V4S-US/EU のスイッチで、ノブのコントロール対象を切り替えられるようになりました。これによりノブに複数の機能を持たせることができます。
- ワードクロックの設定ができるようになりました。
- エマージェンシーモードを追加しました。エマージェンシーモードに設定されたプリセットは、GPI IN 端子の入力をトリガーとして動作します。エマージェンシーモードとは、火災発生時などに音響システムの音をすべて止めるときなどに活用するモードです。
- SPEAKER PROCESSOR のライブラリーに VXC シリーズと VXS シリーズを追加しました。

改善点

- SD Song Select & Play の機能を改善しました。
- ファイルを保存するときに、保存先が C:¥Program Files または C:¥Program Files(x86)になっている場合は、My Document に保存先を変更するようにしました。

修正した不具合

- MTX3 が 2 台以上ある MTX システムで、「Scheduler」ダイアログで GPI Out が設定されている状態の MTX システムから「Go Online – From Devices」ダイアログを使って MTX Editor に設定を取り込むと、2 台目以降の MTX3 の GPI Out の設定が一部正しく表示されない不具合を修正しました。
- SD メモリーカードに保存してある曲や音声を再生中に、SD PLAY が「No Assign」のプリセットをリコールしたり、SONG が「No Assign」のイベントを呼び出したりすると、再生中の曲や音声が停止してしまう不具合を修正しました。

MTX3 Firmware V1.11

修正した不具合

- MTX Editor の「Scheduler」ダイアログで設定されたイベントのうち、同期を完了してから 60 秒以内に発生するイベントは実行されない不具合を修正しました。
- 再生可能な音声ファイルが一つも保存されていない SD メモリーカードを挿入した場合、アラート番号 56 番が発生する不具合を修正しました。

- MTX Editor との同期によって Wireless DCP のライブラリーが切り替わる場合でも、接続中の Wireless DCP の表示は更新されない不具合を修正しました。
- MTX Editor の[Alert]タブの Type 欄や、「Get Log」ダイアログで取得したログの Model 欄で MTX3 が unknown device と表示される不具合を修正しました。

既知の不具合

- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがあります。この場合は、本体の電源を入れ直してから再度取得してください。
- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがあります。Status 欄が Complete と表示されているのに再起動しない場合は、本体の電源を入れ直してください。

MTX5-D Firmware V1.11

V1.11 は、初回リリースバージョンです。

既知の不具合

- MTX Editor の「Get Log」ダイアログでログの取得に失敗することがあります。この場合は、本体の電源を入れ直してから再度取得してください。
- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがあります。Status 欄が Complete と表示されているのに再起動しない場合は、本体の電源を入れ直してください。
- MTX Editor と To Device で同期しても、Dante のパッチ設定が MTX5-D に反映されないことがあります。この場合は、本体の電源を入れ直してください。

XMV Firmware V1.11

修正した不具合

- MTX と NETWORK 端子でつながっている XMV の電源をオンにすると、MTX Editor にアラート番号 102 番がログとして記録されることがある不具合を修正しました。
- 温度保護によるミュートが発生したとき、アラート番号 106 番が表示されない不具合を修正しました。

既知の不具合

- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがあります。Status 欄が Complete と表示されているのに再起動しない場合は、本体の電源を入れ直してください。

EXi8/EXo8 Firmware V1.11

修正した不具合

- ディップスイッチ 7 および 8 の設定を「INITIALIZE」に設定したまま、2 回以上 EXi8/EXo8 を起動し、そのあと「RESUME」にして起動すると、アラート番号 2 番と 7 番が点灯する不具合を修正しました。

既知の不具合

- Firmware Update を実行したあと、本体が自動的に再起動しないことがあります。Status 欄が Complete と表示されているのに再起動しない場合は、本体の電源を入れ直してください。

MTX Editor V1.0.1

既知の不具合

- MTX3 が 2 台以上ある MTX システムで、「Scheduler」ダイアログで GPI Out が設定されている状態の MTX システムから「Go Online – From Devices」ダイアログを使って MTX Editor に設定を取り込むと、2 台目以降の MTX3 の GPI Out の設定が一部正しく表示されません。

MTX3 Firmware V1.03

V1.03 における変更点

- V1.03 は生産効率向上のためのアップデートですので、V1.02 から追加される機能はありません。(V1.02 は、初回リリースバージョンです。)

既知の不具合

- MTX Editor の「Scheduler」ダイアログで設定されたイベントのうち、同期を完了してから 60 秒以内に発生するイベントは実行されません。
- 再生可能な音声ファイルが一つも保存されていない SD メモリーカードを挿入した場合、アラート番号 56 番が発生します。SD メモリーカードを挿入する場合は、再生可能な音声ファイルを保存しておいてください。